（後面衝突警告表示灯）

第270条の4の2 後面衝突警告表示灯の灯光の色、明るさ等に関し保安基準第66条の4の2第3項の告示で定める基準は、第268条の2第1項の規定を準用する。

2 後面衝突警告表示灯の取付位置、取付方法等に関し、保安基準第66条の4の2第4項の告示で定める基準は、次のとおりとする。この場合において、後面衝突警告表示灯の照明部、個数及び取付位置の測定方法は、別添94「灯火等の照明部、個数、取付位置等の測定方法（第2章第2節及び同章第3節関係）」に定める基準を準用するものとする。

一 方向指示器を使用するものであること。

二 後面衝突警告表示灯については、第265条第2項第2号から第4号までの規定を準用する。

三 毎分180回以上300回以下の一定の周期で点滅するものであること。ただし、フィラメント光源を用いる場合にあつては、毎分180回以上240回以下の一定の周期で点滅するものであること。

四 他の灯火装置と独立して作動するものであること。

五 方向指示器、非常点滅表示灯又は緊急制動表示灯が作動している場合においては、後面衝突警告表示灯は作動してはならない。

六 自動的に作動し、かつ、作動から3秒以内に自動的に作動を停止するものであること。

3 施行規則第62条の3第1項の規定により型式の認定を受けた一般原動機付自転車に備えられている後面衝突警告表示灯と同一構造を有し、かつ、同一位置に備えられた後面衝突警告表示灯であつて、その機能を損なう損傷のないものは、前項の基準に適合するものとする。